

13
2237
14

池清

繪本烈戰功記後篇卷之二

目錄

原隼人佐之傳

原昌俊妻蕪生之圖

上杉謙信猛勇之事

北条與上杉和睦之事

謙信与氏安父子對面之圖

武田信玄駿河出張之事并津波之事

武田家軍議之事

武田家軍議之事

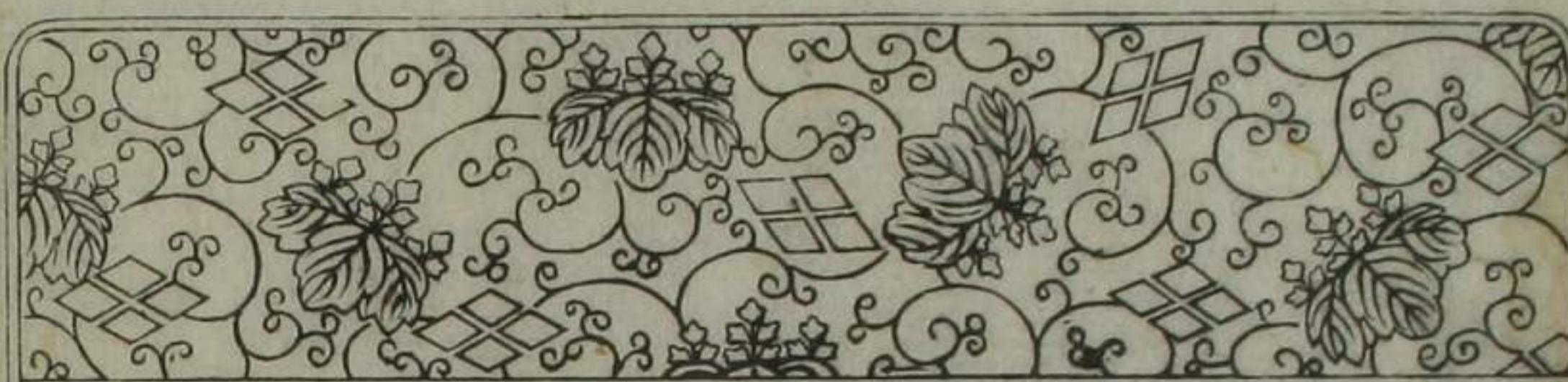


繪本烈戰功記後編卷之二

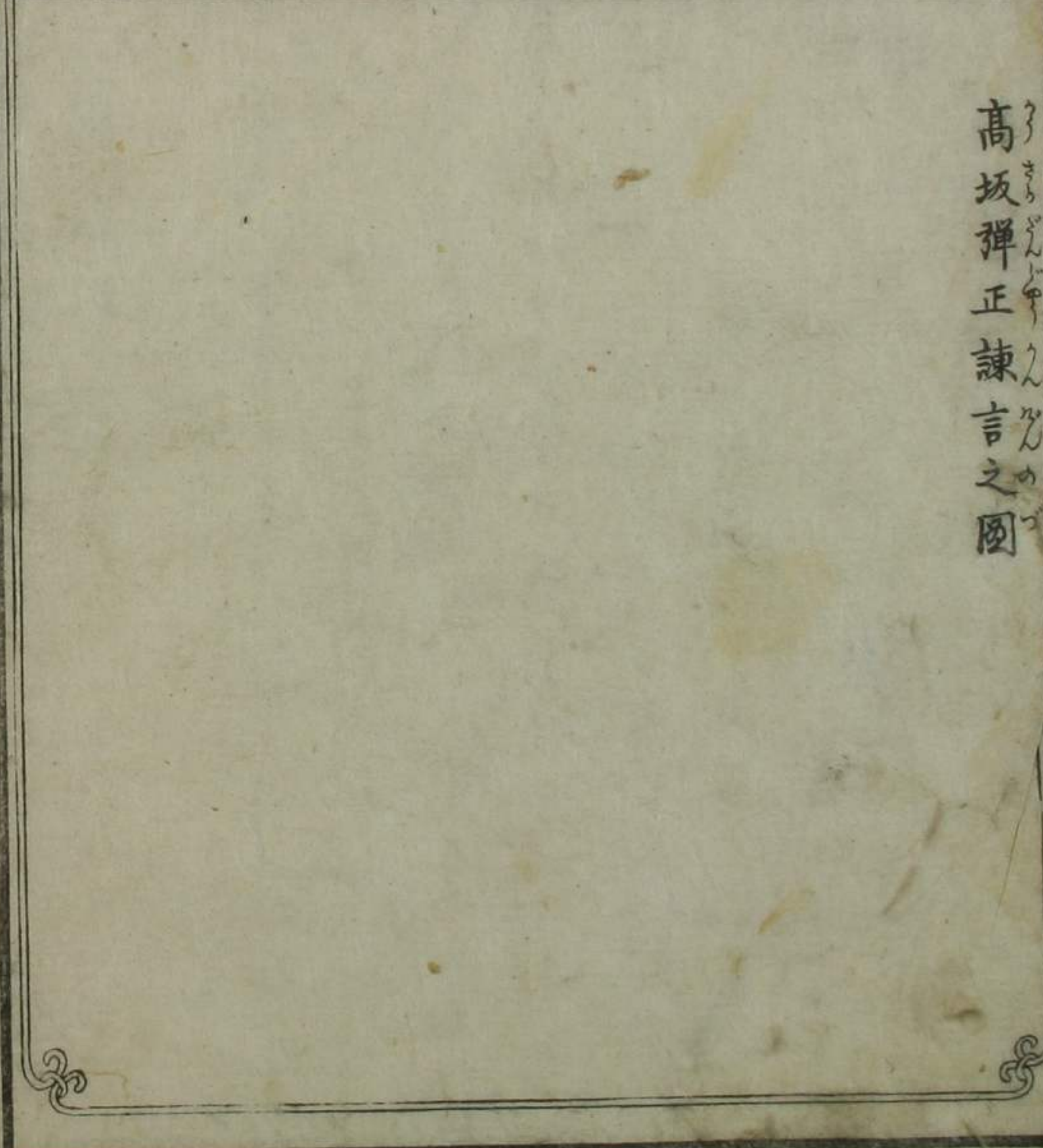
原隼人佐之傳



斯而武田信玄ハ甲府ニ敵陣ニて急ニ原隼人佐之傳ヲ召
 是ニ今夏麓系山ノ險阻ヲ奪ハシテ法軍ニ對シテ敵國
 たるヲ今更ニ昌勝ガ功ハ依リ脱又去ル天文二十四年乃
 秋本將義昌ガ籠ル。此嶽ノ城ヲ攻ルノ因ニ原隼人
 此嶽ノ守將トシテ又勝利ヲ得テ之ヲ奪ハシメ昌勝ガ
 功拔群也ト云フ。原隼人佐之傳ハ此嶽ノ城ヲ攻ルノ由
 運隼人佐之傳ガ出陣ト詳ニ記ス。又原隼人佐之傳ハ
 是ニ甲兵白鳥トシテ原隼人佐之傳ガ出陣ト詳ニ記ス。又
 ける勇士ト云フ。是ハ原隼人佐之傳ガ家ノ事ト云フ。原隼人佐之傳ハ



高坂彈正諫言之圖



女^メ而^{シテ}得^ル後^ハ。君^ハ又^{シテ}随^フ順^ニ而^シ。法^ハ方^ニ此^ノ後^ニ又^{シテ}向^テひ^テ。陣^中小^日と
 言^フて家^ヲ又^{シテ}在^ル。婦^ハあま^ニども。妻^トく^テ。亦^{シテ}幸^ニ以^テ収^メ。巖^ニ
 坐^ス。小^日向^テと守^リ。毎^ニ上^ノ条^ノ地^ヲ荒^ク菩^サ薩^トと信^ト作^ト。家^ヲ
 近^クと法^成寺^ヲ小^日信^ト。寺^内又^{シテ}在^ル。雨^ノの薩^埵の尊^徳と詳^シと。
 交^シ昌^後が武^運死^シ。我^身の後^世とも我^身なりと。武^運
 年^ハ。疫^病の流^行しけり。獨^リて。たの^ミお^クきりし時^ニも。法^成寺^ノ
 の地^ヲ荒^ク申^シ。此^ノ方^ニ向^テひて。幸^ニあ^リ念^ハか^キ。亦^{シテ}雨^ノの^カ。本^ノ
 那^トう^テあ^リさ^セあ^リと。地^ヲ荒^ク菩^サ薩^ノの室^号と。あ^リ作^ト。遂^ニお
 ち^リた^リと。ぞ^シあ^リ。ま^ニあ^リ昌^後歎^シと。あ^リあ^リども。あ^リあ^リあ^リ
 もあ^リと。結^ハ。別^ニ法^成寺^ノの後^ニ埋^メ。黄^壤一^堆の王^ヤぞ
 成^ル。加^賀寺^モ亦^{シテ}寺^ニに信^ト。亡^シ妻^ノの後^世と。い^ハ。守^キ

女^メ而^{シテ}得^ル後^ハ。君^ハ又^{シテ}随^フ順^ニ而^シ。法^ハ方^ニ此^ノ後^ニ又^{シテ}向^テひ^テ。陣^中小^日と
 言^フて家^ヲ又^{シテ}在^ル。婦^ハあま^ニども。妻^トく^テ。亦^{シテ}幸^ニ以^テ収^メ。巖^ニ
 坐^ス。小^日向^テと守^リ。毎^ニ上^ノ条^ノ地^ヲ荒^ク菩^サ薩^トと信^ト作^ト。家^ヲ
 近^クと法^成寺^ヲ小^日信^ト。寺^内又^{シテ}在^ル。雨^ノの薩^埵の尊^徳と詳^シと。
 交^シ昌^後が武^運死^シ。我^身の後^世とも我^身なりと。武^運
 年^ハ。疫^病の流^行しけり。獨^リて。たの^ミお^クきりし時^ニも。法^成寺^ノ
 の地^ヲ荒^ク申^シ。此^ノ方^ニ向^テひて。幸^ニあ^リ念^ハか^キ。亦^{シテ}雨^ノの^カ。本^ノ
 那^トう^テあ^リさ^セあ^リと。地^ヲ荒^ク菩^サ薩^ノの室^号と。あ^リ作^ト。遂^ニお
 ち^リた^リと。ぞ^シあ^リ。ま^ニあ^リ昌^後歎^シと。あ^リあ^リども。あ^リあ^リあ^リ
 もあ^リと。結^ハ。別^ニ法^成寺^ノの後^ニ埋^メ。黄^壤一^堆の王^ヤぞ
 成^ル。加^賀寺^モ亦^{シテ}寺^ニに信^ト。亡^シ妻^ノの後^世と。い^ハ。守^キ

加賀寺が邸の門とほしくと敵者なり何若ぞと問はる。南
 家の女依と依ひ来りて。疾く開門をせしと云ふ。昌後
 言て門と依ひ来りて。八旬なり。あつる言げする傍の肩
 あり八字の霜と云ふ。よに嶋の杖と云ふ。加賀寺が
 妻と依ひて。入来り。人々驚きて。是も如何。死する方の敵り
 あり。あつたおくと。怪神の雨。彼傍の口。予は法成寺の
 内。復者なり。今宵の月乃。面をうつる。あつら。あつら。あつら
 寺。此後と。桃御したる。一堆の墳。崩て。中よりけ。女房の如く
 多い。何人ぞと問は。加賀寺昌後が妻なりと云ふ。あつら
 に付く。初に依ひ来りて。今藤生。あつら。あつら。あつら。あつら

三

生



川茂カバニ篇卷之二

五

原昌俊
の妻
蕪生
の
圖



烈陣功計二篇卷之二

四

又事^{つと}べし^しと^しけり^{けり}。正^{ただ}捕^{とら}は^らぬ^ぬと^と心^{こころ}行^なは^らせ^せり^り。又^{また}際^{きり}に^に傳^{つた}へ^へり^り。忠^{ちゅう}勤^{きん}又^{また}私^しを^をく^く。十八^{じゅうはち}七^{しち}の^の初^{はつ}段^{だん}より^{より}雨^{あめ}あ^あり^りて^ての^の軍^{ぐん}功^{こう}數^{すう}を^をふ^ふら^らず^ず。就^{すなは}中^{ちゆう}心^{しん}勝^{しょう}。地^ち理^りと^と知^しり^り妙^{めう}と^と得^{とく}る^る。河^かも^も敷^しぬ^ぬと^と深^{ふか}く^く傷^やみ^み入^いり^り。諸^{しよ}軍^{ぐん}先^{せん}づ^づち^ち段^{だん}の^の地^ち段^{だん}見^み立^た。合^あ戦^{せん}の^の場^{ばう}と^と考^{かう}。峯^{かみ}嶺^{りやう}の^のは^はら^らぬ^ぬ。溪^{けい}川^{せん}の^の末^{すえ}と^とも^も見^み獲^{とく}。い^いろ^ろの^の深^{ふか}山^{さん}出^で谷^{たに}なり^{なり}とも。踏^ふか^かて^て先^{せん}を^をす^すり^り又^{また}進^まり^り。水^{みづ}の^のみ^みみ^み考^{かう}。是^{こゝ}に^に過^あり^り事^{こと}。律^{りつ}と^と通^とじ^じたる^{たる}が^が如^{ごと}し。人^{ひと}皆^{みな}これ^{これ}を^を感^{かん}稱^{しょう}し^し。ち^ちろ^ろの^の程^{ほど}は^はた^たし^し。庵^{いん}原^{げん}の^の山^{さん}中^{ちゆう}と^と案^{あん}内^{ない}と^と。小^{せう}条^{じょう}赤^{せき}の^の殊^{こと}斗^とを^を挫^く。伝^{でん}云^いの^の智^ち謀^{ぼう}。武^ぶ田^{でん}家^け奇^き美^みの^の勇^{ゆう}士^し也^{なり}。味^{あじ}方^{ほう}武^ぶ威^いと^と揮^ひや^やり^り。武^ぶ田^{でん}家^け奇^き美^みの^の勇^{ゆう}士^し也^{なり}。一^{いっ}國^{こく}の^の賞^{しょう}擧^{きよ}げ^げ得^{とく}る^る。

敵

現

上杉謙信猛勇之事

茲^{こゝ}に^に武^ぶ臣^{しん}忍^{にん}の^の城^{じやう}を^を成^{なり}田^{でん}下^げ守^し長^{ちやう}安^{あん}。強^{きやう}斥^{せき}を^を子^こ息^{しつ}氏^し長^{ちやう}世^よを^を次^{つぎ}で^で後^ごも^も。野^の中^{ちゆう}条^{じょう}家^けを^を後^ご指^さし^し。謙^{けん}信^{しん}又^{また}敵^{てき}討^と。深^{ふか}あ^あら^らば^ばと^と挫^くが^が然^{しか}り^り。然^{しか}り^りと^と挫^くら^らぬ^ぬ。謙^{けん}信^{しん}是^{こゝ}に^に又^{また}心^{こころ}を^を用^{もち}ひ^ひら^らせ^せ。兼^{かみ}て^て忍^{にん}の^の城^{じやう}を^を壓^{おさ}へ^へり^り。乃^{すなは}ち^ちあ^あら^らぬ^ぬ。益^{えき}尾^びの^の城^{じやう}代^{だい}結^{けつ}戸^こ源^{げん}四^し良^{りやう}也^{なり}。成^{なり}田^{でん}が^がち^ちろ^ろの^の中^{ちゆう}に^に送^{おく}ら^られ^れ。野^の中^{ちゆう}条^{じょう}家^けを^を令^{しん}ぜ^ぜら^られ^れ。乃^{すなは}ち^ちあ^あら^らぬ^ぬ。結^{けつ}戸^こ源^{げん}四^し良^{りやう}も^も大^{だい}利^りの^の者^{もの}なり^{なり}。謙^{けん}信^{しん}の^の令^{しん}を^を畏^{おそ}む^む。成^{なり}田^{でん}が^が勅^{とく}他^たと^と。忍^{にん}の^の城^{じやう}を^を攻^{せう}め^めり^り。と^との^の意^いを^を得^{とく}る^る。眼^{まなこ}上^{かみ}の^の痛^{いた}み^みを^を忘^{わす}れ^れ。氏^し長^{ちやう}も^も。と^と出^でた^たら^らぬ^ぬ。眼^{まなこ}上^{かみ}の^の痛^{いた}み^みを^を忘^{わす}れ^れ。氏^し長^{ちやう}も^も。思^しひ^ひを^を得^{とく}る^る。撞^つく^くこと^{こと}を^を入^いれ^れ。源^{げん}四^し良^{りやう}が^が心^{こころ}を^をや^やり^り。

敵

押

結戸が女と以て氏長が妻とす。内々婚娶の儀とれ結戸
 りれば。あ家の兵。于てと他。通路は遠く。而。羽生。孟尾
 の支味。仲。却。忍の杖。城のや。りて。成田が威勢。日
 に強大。及び。い。い。謙信。是と。傳。す。西。結戸が。交。心。成
 田。撃。屠。て。味。方。の。人。懲。ふ。み。ん。ど。と。て。八。千。餘。騎。と
 引。率。而。春。日。山。と。雷。鼓。し。と。上。野。の。厩。橋。は。着。改。道。し
 う。が。是。と。す。い。く。松。枝。本。陣。深。谷。の。城。と。す。り。馳。加。り。一。萬
 六。千。餘。騎。あ。ぞ。成。り。の。支。上。り。熊。谷。又。か。つ。ま。大。乃。筋。を
 推。て。孟。尾。の。陣。を。押。上。せ。り。城。主。結。戸。源。四。良。兼。く
 綱。つ。り。り。あ。れ。ば。矢。石。を。飛。し。て。是。と。防。ご。成。田。が。後
 法。成。結。く。寄。り。と。討。し。と。搦。つ。る。が。流。の。謙。信。を。と

結

結

結

先。よ。り。し。て。城。一。討。及。小。寺。崩。せ。上。也。嚴。く。知。と。傳
 放。り。の。ね。ど。ふ。え。末。ふ。要。害。の。小。陣。あ。り。け。き。ば。勿。堀。櫓
 と。歩。破。り。り。さ。も。別。勇。乃。結。戸。源。四。良。も。成。田。が。後。法。を
 極。く。閑。居。り。而。迹。を。出。く。忍。の。城。へ。と。引。入。り。た。れ。ば。謙。信
 直。に。突。入。り。孟。尾。の。陣。と。燒。拵。ひ。ま。よ。り。成。田。が。領。分
 長。野。村。と。放。火。し。往。て。丸。墓。山。の。地。花。中。小。北。の。つ。く
 忍。の。陣。と。眼。下。に。ん。下。し。替。甜。く。人。る。其。息。も。休。ら。ま
 ず。拵。け。忍。乃。城。と。い。ふ。尚。必。牙。一。の。名。陣。あり。而。四。方。大。旗
 大。沼。に。圍。り。西。の。方。稍。細。暇。三。丁。を。り。而。已。ま。く。み。子
 乃。新。田。口。も。及。細。く。堀。沼。又。さ。く。ら。れ。て。大。軍。通。る。に。換

源平物語 卷之三

七

ちつけまは倭兵はりく見様て。け城容易小落ぐりて
 攻撃目と歴バ。小条大軍引て後詰とす。け城
 結戸と逆。成田と懲り。是て子足バ。速又飯圃とす。一
 五で。法軍又命下而。殊の逆を焼払とせ。忠又武民羽
 生の城又推寄。早れどもお洋し。城代結戸仔豆守
 等と退散し。悠くと越後へぞ飯沼ありり。茲又
 上杉旗下のり。下野國 佐野の城主。修聖又太郎
 昌徳。一一族共とお締の子とす。一族皆昌徳と背
 小条氏安父子とれて。飯沼山又掃蕩。却て佐野が
 城と攻めんと欲。小条家へ加勢と乞ふまは。氏政刻
 四万餘騎と引率而。下野不出張ありり。佐野昌徳

康

引

大に騒と。越後へ早るぬ飛せ。急を告ると擲の蓮代
 ひくが如くありり。倭兵許容あり。刻八千餘騎と
 後。即討又越府とあ立。疾と目又次で。下野と出く
 ける。先出援と。城の根もぬき。し早。氏政ハ
 佐野が味とく推寄。松田。大乃古。笠原。依田等の勢と
 取詰る。越ありり。倭兵法軍と止て。軍法と定られ
 曰。新危険又臨と。明日討攻又及。氏政が旗本と切
 崩とも。予あり。佐野落殊せ。遠くの後詰。ゆの詮
 予んち又行討も。予城中又集入。夫また防衛とせ
 せん。予又調勢ハ。上杉孫五郎と大おして。後奉とす
 予。予旗のよび。急おて出く。亦後より氏政と退崩

乳

279

謙信と
氏安父子
の
對面
の
因



川内



上杉謙信

上杉謙信

無量あり。老々ると致しん。又の如くすと云は。伝云ハ来も
 老々ると思ひて。い方へ人質をどともしし。越後以
 来他事なく入魂せしますべ。予卒疎よあべ死やと
 有て。列す使長をちよ。伝及岩村旧の法真和尚
 瓜下副て。越後へきんされり。政傍より伝云
 五谷の叛と述べき。謙伝大に憤られ。伝云未
 和儀さしづる先より。謙伝とん又幕下の言くは
 云敷こそ安う孫。お終の五谷。予使傍と付て
 押んどし。わらう又罵らきり。支傍も弱る所
 とめて。いんく又甲あへど飯りぢり。是又依て。武田
 と拔孫もづれとぞ成より。山縣二良も傍尉昌系系

隼人昌勝。伝云又得く。は又越後の法五言。今此謙伝以
 して。作せし。謙伝及孫あべ死はりんと云
 らま。伝云莞尔と而曰。予謙伝と悪又あは。まうと侮
 せしめり。謙伝も兼て上洛を遂。義兵以
 揚んとの志切られども。尚主中。伝云が乱入と怖まを
 事返降。今予和議とけが。謙伝直上上洛を
 色あり。彼又先と越まらる。我宿志悉く再候り。故と
 似形孫泰の返言あり。予亦帝初又議を揚ん
 謙伝を懼る。予傍を扱て事は。いんく和融小
 及ん。いんくあはれ者。小条氏安を。抑氏安。予又編
 援兵と名。後法成憑。予るを判出する。義兵と知れ

敵 九

山本乃魁が軍旅の要依とわづらしたる。軍法の達人ありて
 英戈俊秀の勇士とる不依て。武田家四郎の懸一と作られ
 たりとぞ嘆かえし。伝言兼而外は、由被とありて山本が
 勅作とありて、是れより、けはの往き来。氏安先日より
 不の領域へ軍勢と来て、籠られたり不依。お及山本系は、残り
 尚る所の軍勢二万餘ふると嘆かえられ。伝言兼而して
 出もあきまん。予を計的商せりとして、山田系乱人の軍
 議ふ及むれり。先山本の領分一か間の。大繪圖とん
 能地理を考らる。連ふ山田系へ乱入して、一戦の後、第
 根へめり。二倍へ出く引べらう。然共、予の道筋ふ
 故城ありて、是れは、前後と防又難きとらん。或れば、三増

体と越て。甲兵部内へ出せられ。何き不始進し、乃と敵
 改むれば、先敵の諸城より、取きりて、危の事ありとて
 先三増、城ふり、山田改有せられ、おぞきりたる。押良の
 故、必し、乱入とるや。先、猜利と先、甘ん。味方の徳軍
 進退自由とる、と、才一、先、大敵、是、在て、劉、敵、後、に
 在の、所と、引退す。味方の、故、亡、た、の、り、な、れ、ば、け、而、と、肝
 要とて。能、軍、勢、と、わ、り、し。却て、追、来、る、敵、と、付
 ぬ。遮る、勢、と、不、破、と、付、也。故、一、場、而、も、同、日、同、敵、ふ
 向、の、な、れ、七、重、の、試、と、号、有。そ、試、決、而、後、も、百、戦、百、勝
 乃、程、と、作、ら、れ、が、肺、と、お、う、べ、と、也。諸、伝、言、げ、程、と、明
 みて。三、増、筋、の、故、城、築、井、の、城、一、ヶ、所、な、ら、ば、是、と、押

山本乃魁二増筋

廿一



敵 加

定めまはし。千道船の故味。悉攻隔し。或ハ二之の曲輪
と踏破て。遊山へし向しれちる勢ハ奪得破竹の如し
面を向へん故を要らざる。清

あま

繪本烈戦功記後編卷之二畢

